

青い鳥のお仕事をのぞいてみよう！

～療育センター・作業療法士（OT）の場合～

<何をする人？>

OTは一般的に、身体障害、精神障害、老年期障害、発達障害の方などを対象とし、病院、精神科や高齢者の施設、療育機関、教育機関、行政機関などで働いています。

発達分野のOTは遊びを通してお子さんの発達を促します。見たり、聞いたり、さわったり、跳んだり、揺れたり、転がったり…。自分の身体を使って遊ぶこと、またその中で人と一緒に楽しく遊びながら、運動や感覚、コミュニケーションの土台を育てていきます。遊びの中で成功体験を積み重ね、自信や意欲を育て、生活の中で必要な食事や着替えなどの身辺動作の獲得にもつなげていきます。

<支援の対象はどんな人？>

肢体不自由のお子さんや発達障害のお子さん、そしてそのご家族の方が対象です。生活の中で行う様々な活動（作業）が上手いかなくて困っている場合にお会いします。

<どんな支援をするのか教えて！>

お子さんが興味を持って取り組める遊びや活動を通して、個々の発達段階に応じた支援を行います。また、ご家庭や幼稚園・保育園、学校とも連携し、適切な環境作りや関わり方などを検討したりします。センターの集団クラス内での評価やアドバイスなど、多職種と連携を取りながらの支援や、ご家族向けの勉強会なども行います。

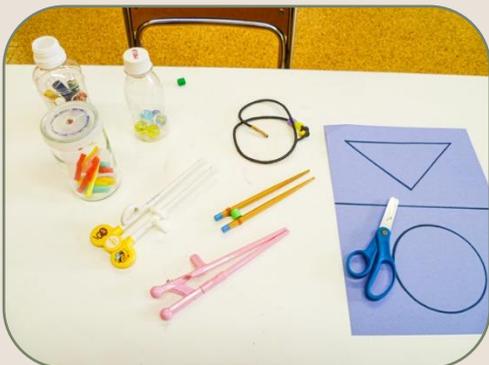
<ある一日の流れ>

08:45【始業】

1日の予定を確認し、お部屋や教材の準備をします。センター全体での朝礼もあります。

慌ただしい朝の時間。
ちょっとでも顔を合わせた
コミュニケーション
を大事にしています。
(20年目)

09:00【OT評価】



OTと初めて会うお子さん、ご家族に対して、評価・相談を行います。ご家族の相談内容やお子さんの状態に合わせて評価を実施します。お子さんの得意、苦手を把握し、ご家族にお伝えします。相談・指導の計画を作成し提案します。

お子さんによっては遊びから導入することもあります。楽しく遊び過ぎて評価を忘れないように！！と気をつけています。(10年目)

10:00【OT個別セッション】（体の使い方）

お子さんと1対1での作業療法を行っています。実施内容は、お子さんに合わせるため多種多様です。ご家族にもその様子を見ていただいて共有します。生活の中での困り事に対しては、食具の扱いや着替えなどの練習をしたり、家でできる事を一緒に考えたりします。

体の使い方が不器用なお子さんには、遊具を使った運動遊びを通して、楽しみながら体の使い方を学んでいけるような関わりをしています。



お子さんとの運動遊びを通してOT自身が「逆上がり」できるようになったり…経験の積み方にもいろいろありますね。(7年目)



ある日のOT場面。お子さんはゴールの敵を倒そうと一生懸命。少し苦手なバランス遊具にも乗ってしまいます。成功したら次はボール攻撃をかわしながら敵をやっつけ、最後は空中戦へと遊びが展開！

お子さんは夢中で遊び、OTはその中に課題となることを織り交ぜながら、遊びが成功するように関わっています。



周りの目は気にせず、お子さんと一緒に大喜びします。(21年目)

11:00【OT個別セッション】（手先の使い方）

鉛筆やお箸などの道具を使うのが苦手なお子さんには、手の機能に合う道具を紹介したり、発達に合わせた練習をしたりします。基本となる手の使い方は、課題や遊びの中で練習していきます。



手先の運動を促す個別場面です。

スイッチを押して人形が飛び出すことが面白くて繰り返し手を伸ばしています。スイッチを手前に引くことは出来ても、押し込んだり、ひねったりが難しい。そんな時、椅子は何を使ったら良い？おもちゃの位置はどこがいい？おもちゃ自体に工夫をしては？少し介助して動きの方法を教えてあげるの？

お子さんが楽しめて、「出来た」が増えるように関わっています。

12:00【給食介助】

通園クラスの給食に入ります。摂食機能に合わせた介助を行いながら、姿勢や食具操作の様子なども確認しています。



13:00【休憩】

給食に入った日は少し遅れて休憩です。

お茶を飲んで少しゆっくりしてから、自分の用事を済ませます。

給食以外の日は職員室で食事をしています。色々なスタッフとおしゃべりしながらのランチタイムは栄養も元気もチャージできます。(20年目)

14:00【摂食外来】



歯科医師・栄養士・PT・ST・OTがチームとなり、月に3回行っています。普段食べているものを持参してもらい、実際に食べる様子を見ながら、お口の発達や食事姿勢、食具の使い方などを評価しアドバイスします。お子さんが持ちやすいようにスプーンのグリップを加工したり、使いやすい食器を紹介することもあります。

美味しく楽しく安全に食事ができるように、お子さんに関わる職員間でミーティングを持ち情報共有に努めています。

様々な職種が関わっているので、幅広い情報を得られます。(10年目)

ある日の摂食外来。

お子さんは「食べたいっ」とお口を大きく開けてしまい、上手くスプーンから食べるできません。お口を閉じるように介助することで、スプーンから上手に食べることができました。美味しい笑顔にお母さんも嬉しそうです。OTはスプーンの使い方や介助のポイントを実際食べている場面でお伝えしていきます。



スタッフで給食提供される形態食を試食することがあります。唐揚げのそしゃく食や押しつぶし食は、見た目はハンバーグやテリーヌのよう。食べると滑らかで柔らかく、そしてちゃんと唐揚げの風味がします！！とても美味しいです。

(7年目)

17:15【退勤】

退勤までの間にミーティングや会議が入ることも。そうでない日は片づけ、記録、準備などを行います。

疑問や悩みなどを仲間に相談したり、一緒に考えたりする貴重な時間だったりもします。(10年目)